

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> デジタルに置き換えてやってみるにより、「編集が必要な時はデジタル。相手や目的によって手書きのメリットを考える。」などの使い分けの意識が芽生えた。 授業以外でもその利便性を実感することで、使い慣れることができた。高学年児童からは「～に〇〇を使いたい。」と意見が出るようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な活用となるかどうかの事前の判断が難しい。→よかったものをデジタルで残していく。 きまりを守れない子がいた。→学習に使うことを基本に、依存してしまわないように自主学習の時間を週1回とする。

校内研修のアイディア

- ・体験型の研修により、ICT活用のメリットを伝える。
- ・実践事例の交流により、活用の幅を広げる。
- ・学校研究とタイアップし、国語科における効果的活用の実践例を積み上げる。
- ・教師と児童の創造的な活用事例の共有により、主体性を高める。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・ICTを活用して協働的に学ぶ。
(共有による効率化、思考ツールを用いて考えの視覚化および交流)
- ・考えの変化、これまで学んだ知とのつながり(ネットワーク化)を実感できる。
- ・それらを自分たちの学びとして、今後の学習活動や学校生活に生かす。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	協働的な学び体験[年代ごとのグループ]	GIGA推進リーダー	学級開き
5月	Googleアプリの基本 フォルダ共有・コメント機能について[学年ごと]	GIGA推進リーダー	活用計画提案
6月	授業構想段階でのICT活用[学年ごと]	研究主任	計画訪問
7月	1学期の成果と課題・2学期に向けて[学年ごと] ミライシード・Navima活用事例	研究主任 GIGA推進リーダー	全体研修会
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークシートを、ICT活用に置き換え、より効率化された協働的な学習をコーディネートする教師。 ・学習の足跡を、板書の写真やスライドで残すことができる教師。 		
8月	国語科におけるICT活用の実際[全体] 金沢星稜大学 細川氏による演習・講演	GIGA推進リーダー	全体講習会
9月	実践交流および教材共有[全体]	GIGA推進リーダー	職員終礼
10月	研究のまとめ[学年ごと] まとめサイトの素材を出し合う	GIGA推進リーダー	職員終礼
11月	研究のまとめ[全体]	研究主任 GIGA推進リーダー	研究発表会
12月	2学期の成果と課題・3学期に向けて[学年ごと]	研究主任	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と共に「どのツールを使って学ぶか」を検討することができる教師。 ・学習の足跡と現在の学習、今後の学習「生き方」をつなげることができる教師。 		
1月	来年度の研究の方向性について	研究主任	
2月	データの共有・記録・整理について	GIGA推進リーダー	
3月	今年度の成果と課題	GIGA推進リーダー	